

「異型腺細胞（atypical glandular cells：AGC）判定症例の後方視的検討」

患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター臨床検査科では、当院の子宮頸部細胞診における形態学的変化と病理組織診断との関連について細胞学的検討を行うことになりました。

この研究は、異型腺細胞（atypical glandular cells：AGC）（以下、「AGC」という）を細胞診断の段階で詳細に分類できれば診療支援の一助となり細胞診断学の有用性が増すことを明らかにするため、AGC 判定症例の細胞学的特徴の検討を目的としています。

この研究のため、2010年10月1日より2022年9月30日までに当院婦人科において子宮頸部細胞診でAGC判定の後、子宮頸部組織を採取された方の、細胞診標本見直しと診療録調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（臨床経過など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心ください。見直しの結果、最終診断が変更になることはありません。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年6月

東京医療センター 臨床検査科

研究責任者 板野 瑞希

連絡先 03-3411-0111（代表）